

* 本来であれば開会式でお話するものですが、時間短縮等の関係で、事前に文書にてお配りします。

今年度の秋季大運動会“も”「感謝」と「感動」

「ダブル優勝できなくてくやしい」「大きな声を出して応援したから声がガラガラ」「今度はこういう応援の工夫をしてみようか」…これは、予行練習直後に子ども達から聞こえてきた声です。こんな会話ができるという事は、練習をみんなで一生懸命に取り組んだ証です。競技も応援も係活動も、全て全力で頑張り切った証です。さすがは西小っ子です。すばらしい…

結団式の時にこう話しました。

「運動会を終えて『本当にやってよかった』とみんなに感じてほしいために、2つの言葉を紹介합니다。1つは『夢』～運動会への夢をもって臨むことです。「ダブル優勝」「徒競走で1位」「見ている人を感動させた」など、その夢を実現しようとする、頑張る力が湧いてきます。もう1つは『絆』～苦しい時も楽しい時も、みんなと協力して取り組んでいくと、みんなでできることがたくさん広がってきて、楽しくなります。」先ほど紹介した会話も、こうしたみんなの「夢」「絆」を感じるものです…

これまでのみなさんの練習を見ると、必死で力を振り絞っている表情の一方で、たくさんの笑顔を目にすることができました。先月の全校集会で、ウェルビーイング（元気で、周りの人と仲良くできている状態）の話をしました。このことが笑顔につながっているのかもしれませんが、ウェルビーイングの4つの魔法の心を使って、「元気で、周りの人と仲良くできる」最高の運動会にしていきたいと思います。

◇幸せの4つの因子◇（慶応義塾大学大学院 前野隆司教授）

- ①「やってみよう」（迷った時はまずは「やってみよう」。チャレンジした事だけでも、自信になりますよ）
- ②「ありがとう」（感謝の気持ちを伝える事で、明るく嬉しくなります。会話の最後は「ありがとう」で）
- ③「なんとかなる」（うまくいかなかったり、不安であったり…だれにでもあること。「なんとかなる」で）
- ④「ありのままに」（走りが早かったり、声が元気だったり…人には必ずよい所がある「ありのままに」）

本年の運動会も昨年度同様、午前中開催となります。それは子ども達の命を最優先にしたい、という思いからです。残念ながら未だに感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ）が広がりを見せ、また、体力低下も懸念され、これまでも体調不良を訴える子が見られました。午前中という限られた時間の中で、子ども達の輝きを見せたい、という教職員の思いをしっかりと込めて、運動会プログラムを作りました。その1つとして、学年全体で取り組む種目では、西小や地域の伝統を受け継ぐ表現（2年・3年・6年）と、学年で創意工夫をした団技（1年・4年・5年）という、過去と現在との融合した内容となっています。また6年生は「学校の顔」として、1年生とコラボする団技も盛り込みました。走種目と共に、ぜひご覧ください。

最後にお礼を申し上げます。最初に今年度使用します放送機器は、今春本校を巣立った卒業生の卒業記念品です。とてもありがたい贈り物で、この運動会が初めての全体へのお披露目となります。ありがとうございます。また、御多用のところ、黒木敏之町長様、小泉桂一教育委員様、四角目久美子教育委員様、そして学校運営協議会の方々に、この運動会に御臨席いただきます。そして2年生のエイサー指導にずっと関わって下さっている「創作エイサー高鍋しんかんちやー」の方々にも来ていただきます。本当にありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。

いよいよ発表の時です。競技や応援に、「感謝」の気持ちを込めて、精いっぱい取り組んでください。そして、みんなの夢の実現と団や全校のみんなの絆が深まる運動会になるように期待しています。

最後に、運動会当日が、みなさんの最高の思い出の「感動」の1ページになるように、心から願って、私のあいさついたします。



結団式～スローガン「無敵の笑顔で熱く舞え 限界突破で目指せ優勝」 9/13



地域の方とともに2年生エイサー練習（5月より）



きそいあつた応援賞プレート



第1回全体練習 9/22



第2回全体練習 9/27



運動会予行練習 10/4

